

公益財団法人東京市町村自治調査会 平成26年度事業計画の概要

2月25日開催の理事会で承認された、平成26年度の事業計画の概要を紹介します。

[事業計画]

①市町村の行財政等に関する調査研究

多摩・島しょ地域の広域的・共通的な行政課題などに関する調査研究の実施
(詳細は2ページを参照)

②市町村共同事業の実施及び支援

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」、「多摩・島しょ広域連携活動助成」ほか

③市町村の自治に関する普及啓発

「ぐるり39」「自治調査会ニュース・レター」の発行、フォーラム・シンポジウムの開催ほか

④広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

広域的市民ネットワーク活動支援、多摩交流センター開設20周年事業ほか

編集後記

当調査会が2月に開催した「多摩東京移管120周年記念シンポジウム」は、盛況に実施することができました。また、同時期に発行した「多摩市町村のあゆみ」も大変評判がよく様々な方から入手したい旨の問合せがありました。両企画ともに手前味噌ですが、良い事業が実施できたものと思っています。

両方の企画ともに多摩地域の歴史を取り上げたものですが、これらの反響をみるといかにご自身が住まわれている地域の歴史に関心をお持ちであるのかがわかります。自身が暮らしている地域の歴史を知ることで、その地域がより身近なものとして感じられ、地域への愛着がより一層深まるという効果が得られるでしょうし、そのことを互いに共有することで、地域のコミュニティの活性化にも寄与することになるのではないのでしょうか。

これから桜の季節となり、外へ出ることが気持ち良いと感じる季節となります、座学もいいですが、多摩地域の歴史探索の小旅行などをしてみてはどうでしょうか。新たな発見があるかもしれません。地域をめぐる旅行といえば、平成25年10月開業の「ななつ星in九州」という列車が人気を博しているようで、中々予約が取れないほど人気があるそうです。九州を周遊し、様々な地域を客車に宿泊しながら何日もかけてゆっくり観光して回るというものだそうです。そういえば、多摩モノレールも第二の山手線を目指し、多摩地域を環状につなぐ計画があったかと思います。もし、計画通り整備されれば、「ななつ星」とまではいかないまでも、モノレールを利用して多摩地域の様々な歴史スポットを廻る小旅行が楽しめるのではないかと考えてみました。

本号では、「かゆいところに手が届く」で「これからの博物館の役割に関する調査報告」という記事を掲載しました。各市町村には博物館、資料館等様々な地域の歴史資料の展示館がありますが、市町村の範囲を少し広げ多摩・島しょ地域全体からみた歴史という視点で、各地の博物館等を散策してみたいかがでしょうか。

(Y・K)

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL : 042-382-0068
URL : <http://www.tama-100.or.jp/>
責任者 石井 恒利